

# わが郷土名士

'81. 5. 17 週刊読売

# 100人+α

⑥

いま活躍中のわが郷土名士 100人+α 週刊読売-1981.05.17



◆次回は高知県



# 中の活躍 いま

「彼、信州人か。道理で理屈っぽい」などとよくいわれる。議論好き、理知的、理想家肌……。長野の県民性については、きわめて明確なイメージが世間に定着している。旧名「信濃国」。その特色は江戸時代、寺子屋が千三百四十一を教え、全国第一位であったこと。明治初年の就学率も全国トップを誇ったが、こうした好学の伝統は今日にも受け継がれて「教育県」の名を高め、信州特有の気質をはぐくんだとはいえる。

もっとも、付和雷同を嫌う性格は、反面、非社会的で協調の精神に欠けるといふことにもなるのだが。

ここに挙げた各界の人物をながめても、なるほど教育県と改めて感心させられる。学者の数が全体の三分の一を占める勢いだ。

鹿島槍ヶ岳  
アルプス北望から市内町大

学究一途か社交べたか。いかに信州人的現象である。なかから知名の学者を拾うと古代インド仏教や密教研究に優れた業績を残す宮坂有勝、全国調査で「日本人の憲法意識」をまとめた小林直樹、現代中国研究の第一人者、

中嶋嶺雄、丸山ワクチンの丸山千里氏など。

文化畑では、文芸評論の大家、臼井吉見氏が健在だし、「目白三平」ものの中村武志氏も、最近土地住宅問題の評論活動に大忙しだ。

一方、女性では、故新田次郎氏とのオンドリ作家でも知られた藤原ていさんのほか、とくに評論家で農村婦人問題の権威者、丸岡秀子、「ドキュメント女の百年」全六巻を著した、女性文化史のもろさわようこそんらが信州女性らしい活動ぶりで異彩を放っている。

国会議員には、公明党を率いる竹入義勝委員長。自民は井出一太郎、倉石忠雄、小坂善太郎、小川平二、小坂徳三郎氏の大経験組が居並ぶが、信州っ子首相はまだ出ていない。



わがふるさと

藤原 てい(作家)

「ひと口にいつて、長野は非常に厳しいところです。高い山があればそれだけ谷が深いし、気候も寒冷でしょう。そうした過酷な自然条件に耐えて生き抜いていくことで、信州人の性格もまた厳しいものになっていったんじゃないでしょうか。

教育県といわれるけど、実態は教師にでもならなければ食っていけないということ。地形的に広い田畑を持ってない農家の二、三男にとって、教師志願は生きるための手段であり、貧し

「日本の屋根」にたとえられるアルプスの峰々と、山間に散在する善光寺、松本、佐久の平と伊那、諏訪、木曾などの盆地群。

この地に、いつごろから人が住みはじめたかは判然としな

いが、ナウマンゾウの骨や、ユニークな大衆参加で知られる野尻湖発掘調査(今春は延べ二万人が参加)、また県内約百五

さから逃れるチエだったんですよ。

ひとつに、長野では奨学金や特待生の制度がととのっていて、教師になるのに元手がかからなかったということもありませぬ。私の父がやはりそうで、六十年くらい昔の話ですが、月八円、当時一人が一月生活できる額を支給されていたと聞いています。

私の生まれ育ったところは、茅野市の奥、そこそ理やムジナの住むような山の中のちっぽけな村落で、人口も百五十足らず。そんなところだに、校長先生だけでも父を含め八人いたんですから。私の周囲はもう先生ばかりですよ」

十か所に上る旧石器時代の遺跡によって、いまから一万―二万年前には人類の生活が営まれていたと推定される。

縄文時代の遺跡数は全国屈指。郵便切手の図柄にもなった装飾土器、鋭利な石器として広く県外にも伝わった和峠特産の黒曜石など、多種多様な出土品が、この時期の活発な文化創造を物語る。

中世以降の信濃は、徳川時代の幕藩体制が確立するまで、盆



●表記は氏名、年齢、出生地、出身地、最終学歴、役職の順。敬称略。

国会議員

井出一太郎(69) 白田町・京大農院・自民

伊藤公介(39) 高遠町・法大法

衆院・新自民

岩垂寿喜男(51) 松本市・中大

法院・社会

小川平二(71) 富士見町・東大

経院・自民

小沢貞孝(64) 松本市・長野工

衆院・民社

串原義直(54) 下条村・下条実

科中院・社会

倉石忠雄(80) 更埴市・法大法

衆院・自民

小坂善太郎(69) 長野市・東京

商大院・自民

小坂徳三郎(65) 長野市・東大

経院・自民

清水勇(55) 長野市・早大高工

修院・社会

下平正一(63) 塩尻市・東筑摩

農中退院・社会

竹入義勝(55) 辰野町・政治大



井出一太郎氏

衆院・公明

竹内勝彦(43) 戸倉町・東京電

機大工院・公明

竹内猛(58) 茅野市・日大法文

衆院・社会

中村茂(50) 上田市・小県蚕校

衆院・社会

羽田孜(45) 上田市・成城大経

衆院・自民

林百郎(68) 岡谷市・中大法

衆院・共産

平林剛(59) 丸子町・専検院・社会

宮下創平(53) 長谷村・東大法

衆院・自民

伊藤郁男(50) 諏訪市・岡谷南

高院・民社

柏原ヤス(64) 長野市・埼玉女

子師範院・公明

小平芳平(59) 富士見町・中大

法院・公明

小山一平(66) 坂城町・上田中

衆院・社会

下条進一郎(61) 下条村・東大法

法院・自民

夏目忠雄(72) 長野市・東大法

衆院・自民

村沢牧(55) 南信濃村・中大法

衆院・社会

柳澤錬造(62) 戸倉町・石川島



横田正俊氏

青年校院院・民社

政官界・法曹

川井英良(71) 大町市・東大法

衆院・元名古屋高検検事長

小松国雄(52) 戸倉町・東大法

衆院・通産省基礎産業局長

小山森也(50) 坂城町・東大法

衆院・郵政省簡易保険局長

夏目晴雄(53) 長野市・東北大

法院・防衛庁官房長

藤井直樹(55) 松本市・東大工

衆院・経企庁審議官

藤森昭一(54) 松本市・東大法

衆院・環境庁企画調整局長

増澤謙太郎(58) 岡谷市・東大

理院・気象庁長官

丸山良仁(54) 松本市・東大農

衆院・建設省大臣官房長

三浦大助(53) 佐久市・慈恵医

大衆院・環境庁大気保全局長

桃井真(58) 佐久市・東京外語、

ハーバード大院院院・防衛庁防衛研

究所研究部長、国際評論家

両角良彦(61) 茅野市・東大法

衆院・電源開発総裁

柳原正之(74) 長野市・更級農

衆院・長野市長

山本鎮彦(60) 松本市・東北大



吉川清一氏

地ごとの勢力がぶつかり合う分立抗争の歴史が続く。源平の争いと源氏の内紛、川中島合戦で史上に名高い上杉、武田の激突、全国制覇をめざす家康の進攻と戦乱の絶えることがなく、真田昌幸・幸村父子らの武將が輩出した。

こうして分立の歴史をバックに、今日の長野県の誕生も複雑な経過をたどった。

当初、北信濃に置かれた長野県(旧名中野県)と南信濃の筑摩県を合わせ、現県域が確定したのは明治九年。しかし、これに反発した南信濃から、分県論や松本への県庁移転論が持ち上がったのである。論争は全県を巻き込んで延々と続くが、これを鎮めたのが一編の歌の力だった。

信濃の国は十州に境つらなる国にして信州つ子ならだれでも知って

いる県歌「信濃の国」。

明治三十六年の県議会で移県論、移庁論が激しく戦わされていたときだ。だれともなく歌い出した「信濃の国」は、たちま



松本城

物知りクイズ

(一) 「しなの」にかかる枕詞は？

(二) 木曾の五木とは？

(三) 史上最強といわれながら横綱になれなかった長野出身の力士は？

(四) 伊那谷の小京都と呼ばれるところは？

(五) 村内に東京という地名があるのは？

(六) 美麻村②大岡村③鬼無里村

(七) 長野県にある日本唯一の山岳総合博物館は？

(八) 松本商業出身でプロ野球初の三冠王になったのは？

(九) 絵島生島事件の絵島が流された地は？(解答は12頁)

ち議場を包む大合唱となり、賛成、反対派とも「信州はひとつの心に結ばれたのである。

もとは長野師範の校歌だったこの歌、昭和四十三年に県歌に制定されたが、酒席でもどこでも、これほど愛唱される県人歌は他府県にも例がない。

★見どころ  
長野は山国、というよりも、まわりを高い山々で囲まれた国

旅のガイド

★見どころ  
長野は山国、というよりも、まわりを高い山々で囲まれた国



# 山岳ハイウェイ

長野 — 湯田中・渋池

◎自然との対話—緑の島。  
歩け—グリーンランド 前山湿原と渋池

◎ファミリーハイキング 展望と植物園東館山

蓮池 — 硯川 — のぞき — 渋峠 — 白根火山 — 草津

## 志賀・草津高原ルート



**パノラマ展望** のあとは郷土色豊かな横手山末広弁当をどうぞ

**郷土みやげ** には高原特産白樺をふんだんに使った白樺細工をお勧めします

**横手山ドライブイン**

海拔2172メートル

**雲上ドライブイン**

長野県志賀高原  
☎02693(4) 2 3 3 8  
本社 ☎02693(4) 2 3 0 1

### 経 済 界

- 法 警察庁長官  
横田正俊 (82) 長野市・東大法  
 弁護士、元最高検長官  
吉野文六 (62) 麻績村・東大法  
 駐西独大使  
吉村千良 (65) 長野市・東大法  
 長野県知事
- 大 日編実業会長  
久保田実 (65) 長野市・長野商  
 三協精機製作所社長  
倉科茂夫 (67) 大町市・東大経  
 第一証券社長  
小林敦 (69) 池田町・長野工 〃  
 木村化工機社長  
小林春男 (69) 長野市・九大法  
 文 〃八十二銀行頭取  
小林文明 (65) 長野市・東大経  
 〃三菱鉱業セメント社長  
小山敏毅 (51) 諏訪市・東大法  
 〃大正生命社長  
佐藤久美 (69) 塩尻市・東大経  
 〃紀州製紙社長  
佐藤光夫 (66) 諏訪市・東京商  
 大 〃京成電鉄社長  
酒井和男 (55) 伊那市・東北大  
 工 〃オリジン電気社長  
笹尾鮮三郎 (66) 坂城町・東工  
 大 〃日本輸送機社長  
塩沢護 (59) 中川村・明大商 〃  
 兼命酒製造社長
- 柴本重理 (71) 中野市・東大経  
 〃ブリヂストンタイヤ社長  
田口利八 (74) 南木曾町・高小  
 〃西濃運輸社長  
田口浩太郎 (58) 上田市・東大  
 工 〃日本電話施設社長  
田中文雄 (70) 佐久市・九大農  
 〃王子製紙社長  
高山萬司 (71) 池田町・松本中  
 〃三和シャッター工業社長  
武田恭一 (69) 伊那市・山梨高  
 工 〃近畿電気工事社長  
中山善郎 (66) 信濃町・福島高  
 商 〃大鶴石油社長  
野原陽一 (57) 飯田市・東大工  
 〃帝人製機社長  
花岡彌六 (76) 岡谷市・東京商  
 大 〃電気化学工業社長  
福嶋文朗 (59) 下条村・早大高  
 工 〃日産化学工業社長  
藤森正男 (66) 松本市・九大工  
 〃太平洋興発社長  
丸田芳郎 (66) 長野市・桐生高

といったほうが正しい。それだけに、その見どころの多くは山ということになり。名の知れている山は、それこそ数えきれない。白馬、鹿島槍、針ノ木、槍、穂高、常念、乗鞍、御岳、東駒、仙丈、金峰、浅間などなど。

これら山々に発する川はやがて千曲川となり、天竜川となり、木曾川となる。また、山々は広大な高原や裾野を展開し、叙情時を奏で、旅人を魅了する。上高地、霧ヶ峰、美ヶ原、志賀、戸隠、開田の高原はとく

●数字で見る長野県の実力\*総務府統計局資料による

項目	数 値	全国順位(位)	調査時点
面積	13,133.20km <sup>2</sup>	4	54年
人口	2,083,942人	15	55年
人口密度	1km <sup>2</sup> 当たり153.4人	39	55年
持ち家率	76.1%	10	53年
55年度県予算	4,442億7,700万円	16	55年
県民所得	1,238,772円	19	52年
大学進学率	3	29	55年
公立図書館数	27.8%	31	55年
病院数	43	5	53年
医師数	161	18	54年
平均寿命	2,412人	18	54年
男	72.40年	4	50年
女	77.00年	16	50年

る。美しい湖沼だ。人文的な風景には、旧中山道に有名だ。こういう大自然に点をそえているのが、諏訪湖、野尻湖、仁科三湖、松原湖などの美しい湖沼だ。



工 花王石鹼社長  
宮本恵一(55) 中野市・明大政  
経 地産トーカーン社長  
山下秀明(71) 箕輪町・東京商  
大 旭硝子会長  
吉川清一(78) 松本市・東大工  
清水建設会長

学 界

芦部信吾(57) 駒ヶ根市・東大  
法 東大教授(憲法学)  
有賀槐三(70) 諏訪市・日大医  
 日大総合科学研究所副所長  
 消化器病学、内科学  
池上二良(60) 松本市・東大文  
 北大教授(言語学)  
伊藤忠厚(65) 駒ヶ根市・日本  
医大 日本医大教授(整形外科  
学)  
飯島宗一(58) 岡谷市・名大医  
 名大教授(病理学)  
飯田汲事(72) 飯山市・東大理  
 名大名教授(地産学)  
今井勇之進(73) 長野市・東北  
大工 東北大名教授(金属材料  
学)  
上田泰(67) 松本市・慈恵医大  
 慈恵医大教授(内科学)  
大沼淳(52) 飯山市・海兵 文



小林直樹氏



中嶋嶺雄氏

化女子大学長  
小口高(51) 岡谷市・東大理 東大教授(超高層大気物理学)  
小口忠彦(63) 下諏訪町・東大 文 お茶の水女大教授(教育心理  
学)  
奥原唯弘(52) 松川村・早大院 近大教授(憲法、行政法)  
尾崎萃(60) 松本市・東京工大 東京工大資源化学研究所教授  
(触媒化学)  
大池弥三郎(67) 山形村・東北 大医 弘前大学長(内科学)  
小原二郎(64) 南木曾町・京大 農 千葉大教授(人間工学)  
笠原一男(64) 高遠町・東大文 日本宗教学、元東大教授  
金井圓(53) 松本市・東大文 東大教授(日本近世史)  
北沢正啓(56) 駒ヶ根市・東大 法 名大教授(商法学)  
北島正元(68) 長野市・東大文 立正大教授(日本近世史)  
倉橋健(61) 飯山市・早大文 早大教授(演劇論)  
小林直樹(59) 小諸市・東大法 東大教授(憲法学)  
児玉幸多(71) 更埴市・東大文 学 学院大名教授(日本近世  
史)

五味智英(72) 下諏訪町・東大 文 東大名教授(国文学)  
後藤淳(53) 須坂市・名大工 愛知工大学長(電気工学)  
坂口文吾(56) 東部町・九大農 九大教授(蚕学)  
篠達喜人(86) 下諏訪町・東大理 日本科学協会理事(遺伝学)  
鈴木雅次(93) 松本市・九大工 日大名誉教授(土木工学)  
曾沢大吉(71) 須坂市・京大文 国文学、元奈良女子大学長  
滝沢行雄(48) 塩尻市・新潟大院 秋田大教授(公衆衛生学)  
武居三吉(84) 岡谷市・東大農 京大名教授(農芸化学)  
武田隆夫(64) 上田市・東大経 東大名教授(財政学)  
辰野千寿(60) 伊那市・東京文 理大 上越教育大学長(教育心  
理学)  
土屋敦博(64) 上田市・日本体 育専 長野大学長(保健社会学)  
島山四男(85) 松本市・東北大 工 武蔵工大名誉教授(電工  
学)  
中嶋嶺雄(44) 松本市・東大院 東京外大教授(現代中国学)  
二村忠元(64) 松本市・京大工 東北大名誉教授(電気工学)



丸山千里氏

の宿場遺構がある。なかでも妻籠宿のたえずまはる江戸時代を復元して見事。奈良井宿も、それにまさるともおとらない。善光寺西街道の麻積宿も見ごたえがある。安曇野の道祖神、開田高原の馬頭観音群も一見の価値がある。塩田平の古社寺めぐりも信濃の中世文化を知るにはかつこうものだ。

＊四季の味

代表的な味はやはりそばである。有名な店は各地にあるが、開田高原のかざらめ味がいい。馬刺しは松本周辺に名の知れた店が集まっている。いかに信州らしい味には地味の子、伊那のザザムシなどがある。ザザムシは天竜川にすむカワゲラという昆虫の幼虫で、油いりやつくだ煮にして食べる。見かけはわるいが、香ばしく、酒の肴にいい。

野沢菜も信州を代表する味の一つ。本場はもちろん野沢温泉。島々あたりの稲核菜もうまい。忘れてならないものに下諏訪の塩羊羹がある。いまは信州一円で売られているが、下諏訪の「新鶴」がほんとうの塩羊羹である。小布施の栗羊羹、栗かの子、上田のみずす餡、それに各地の五平餅も信州らしい味だ。駅弁は塩尻の鱒ずし、上諏訪のとりに飯などが好評。

「地酒番」  
「菊秀」と「真澄」  
長野県下には五百万石など酒造好適米がとれるので、地酒の名にふさわしい名酒が少なくない。なかでも近來とみに評判の高いのが南佐久の寒冷清澄の風土が生む「菊秀」。

元農相、官房長官、井手一太郎、作家・井手孫六兄弟の実家の蔵で、磨き抜いた酒米をじっくり寒づくりで仕込む。さわやかな旨味、酒格とも申し分なし。純米酒もすぐれ、焼酎「峠」も出している。「真澄」は「神州」の味噌づくりでも知られる諏訪の宮坂醸造の名門酒。敗戦直後の昭和二十一年、全国品評会と新酒鑑評会とともに一、二、三位を独占した輝ける記録をもつ。酒通に喜ばれているのは南安曇の「酔園」、本會福島「七笑」など。(稲垣真美)

＊温泉

長野は温泉県といわれるだけに、各地にいで湯があり、それぞれ特色を誇っている。行楽向きの温泉には浅間温泉、上諏訪温泉、下諏訪温泉、蓼科温泉、戸倉上山田温泉、山ノ内温泉郷、別所温泉などがある。下諏訪温泉は中山道の宿場町として



秦藤樹(72) 四賀村・慶大医  
北里研究所所長(抗生物質、痛  
化学療法)  
長谷川善和(51) 飯田市・横浜  
国大 横濱国大教授(古脊椎動  
物学)  
羽田健三(60) 長野市・東京高  
師 信州大教授(鳥類生態学)  
馬場昭(53) 長谷村・東大農  
日大教授(農業経済学)  
林道義(44) 飯田市・東大院  
東京女大教授(思想学)  
原寛(70) 須坂市・東大理 東  
大名教授(植物分類学)  
半田一郎(56) 長野市・エジン  
バラ大 東京外大教授(応用言  
語学)  
福与正治(68) 飯田市・東大文  
成蹊大教授(英文学)  
藤沢偉作(57) 飯山市・東大理  
東京農工大教授(統計学)  
藤沢令夫(55) 飯山市・京大文  
京大教授(西洋哲学)  
藤森聞一(70) 松本市・東大院  
北大名教授(生理学)  
古島敏雄(69) 飯田市・東大農  
東大名教授(日本経済史)  
宝月欣二(67) 長野市・東大院  
玉川大教授(植物生態学)  
宝月圭吾(74) 長野市・東大  
文 東大名教授(日本中世  
史)

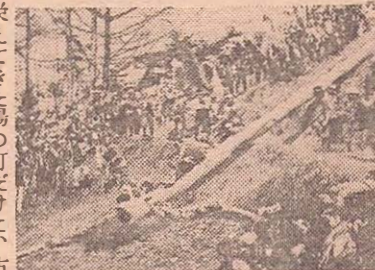
井出孫六(49) 白田町・東大文  
作家  
白井吉見(75) 堀金村・東大文  
文芸評論家  
大川悦生(50) 三水村・早大文  
児童文学  
阪大名教授(物理学)  
若槻哲雄(67) 長野市・阪大理  
学  
横山正彦(63) 高遠町・東大経  
東大名教授(経済学史)  
若槻哲雄(67) 長野市・阪大理  
学  
阪大名教授(物理学)

松井正直(63) 上田市・東大農  
東大名教授(農芸化学)  
丸茂隆三(59) 茅野市・東大農

東大教授(海洋生物学)  
丸山千里(79) 茅野市・日本医  
大 日本医大ワクケン療法研究  
施設所長(皮膚科学)  
三沢正生(67) 伊那市・東大農  
東北大名教授(農学)  
三井為友(69) 富士見町・東大  
院 創価大教授(教育学)  
宮坂広作(49) 諏訪市・東大院  
中退 東大教授(社会教育)  
宮坂晋勝(59) 岡谷市・東北大  
院 名大教授(インド学)  
八木健三(66) 長野市・東北大  
理 北大名教授(鉱物学)  
矢島羊吉(74) 諏訪市・東大文  
東北大名教授(倫理学)  
山本正男(69) 上田市・東大  
文 東京芸大 芸術史、美  
学  
横山亨(58) 松本市・東北大  
工 横濱国大教授(金属材料  
学)  
横山正彦(63) 高遠町・東大経  
東大名教授(経済学史)  
若槻哲雄(67) 長野市・阪大理  
学  
阪大名教授(物理学)

太田青丘(71) 塩尻市・東大文  
歌人  
上條信山(73) 松本市・大東文  
化学院高 書家  
北野次登(57) 長野市・青山学  
院 大経 長野放送社長  
久保田正文(68) 飯田市・東大  
文 文芸評論家  
倉嶋厚(57) 長野市・気象大 随  
筆家  
児玉三鈴(65) 坂城町・仏アカ  
デミー・グランシヨミエール 日  
本画家  
小林勇(78) 駒ヶ根市 評論  
家、元岩波書店会長  
小山敏三(83) 小諸市・慶大中  
退 洋画家  
浅沢孝輔(50) 真田町・東大院  
詩人  
島田謙介(80) 長野市・長野中  
写真家  
島村利正(69) 高遠町・正則英  
語 作家  
清水多嘉示(33) 原村・仏アカ  
デミー・グランシヨミエール 彫  
刻家  
高橋節郎(66) 穂高町・東京美  
校 漆工芸家  
武井武雄(86) 岡谷市・東京美  
校 版画家  
田中重弥(72) 長野市・長野商  
第一法規出版社長  
土屋隆夫(64) 立科町・中大法  
作家  
殿内芳樹(66) 伊那市・東洋大

栄えてきた湯の町だけに、古風  
な旅館が多い。山ノ内温泉郷の  
一つ、地獄谷温泉は横湯川の谷  
あいにある一軒宿。素朴なもて  
なしは定評がある。近くに巨大  
な噴泉壙や野猿公苑がある。一  
軒宿といえば木曾谷の棧温泉も  
そうで、家庭的なサービスには  
心がもっているし、手づくり  
の料理はまさにふるさとの味。  
大事にしたい宿である。  
保養向きの温泉も多い。軽井  
沢温泉郷、内村温泉郷、中房温  
泉郷、田沢、杏掛温泉など。野  
沢温泉、秋山郷の山の温泉も忘  
れがたい。山の温泉とは思えな  
いのが、山田温泉の藤井荘。宿  
のつくり、サービス、料理とも  
に洗練されている。奥薬科温泉  
郷のたえずまいり。



勇壮な御柱祭り

郷土文化  
〈御柱祭り〉信州の奇祭とし  
て古くから有名なものが、諏訪大  
社の御柱(おんばしら・みはし  
ら)祭り。十二支の「寅」「申」



# 塩気が少ないみそ

# 山吹味噌



信州味噌株式会社 信州・小諸 ☎03-951-1141

次週5月24日特大号(5月12日発売)一七〇〇号記念「東京・大阪」こんなに徹底比較



文詩人  
中島千波(35) 小布施町・東京  
芸大日本画家

中村武志(72) 塩尻市・法大高  
師作家、東京間借人協会長  
野平昌人(62) 須坂市・北海道  
文化放送社長

原弘(77) 飯田市・東京府立工  
芸グラフィックデザイナー  
藤原てい(62) 茅野市・諏訪高  
女作家

藤本四八(69) 飯田市・飯田商  
中退美術写真家  
星沢正(66) 長野市・須坂中  
東京法令出版社長

細川観舞水(50) 松本市・東京  
芸大彫刻家  
丸岡秀子(77) 白田町・奈良女  
高師社会評論家

丸山健二(37) 飯田市・仙台電  
波高作家  
宮本幹也(68) 白馬村・明大中  
退作家

務台光雄(84) 松本市・早大專  
説売新聞社長  
椛嶋十(76) 喬木村・法大文  
児童文学

もろさわようこ(56) 望月町・  
専検女性史研究家  
矢崎虎夫(76) 茅野市・東京美



白井吉見氏

校彫刻家  
山本茂実(64) 松本市・早大文  
作家

音楽・演劇・芸能

阿木翁助(68) 下諏訪町・諏訪  
中劇作家  
有賀誠門(44) 塩尻市・東京芸  
大NHK交響楽団首席ティン  
パニー奏者

春日学(65) 伊那市・東京音校  
全日本吹奏楽連盟理事長  
金子満司(48) 松本市・東京写  
真短大映画撮影

上條恒彦(41) 朝日村・松本県  
ヶ丘高俳優、歌手  
熊井啓(50) 豊科町・信州大文  
理映画監督

竹田扇之助(51) 喬木村・赤穂  
農商竹田人形座主宰  
西沢実(63) 長野市・中大法  
劇作家

仁村美津夫(63) 飯田市・飯田  
商演劇、舞踊評論家  
萩元晴彦(51) 飯田市・早大文  
テレビプロデューサー

降旗康男(46) 松本市・東大文  
映画監督



もろさわようこ氏

増沢健美(81) 下諏訪町・早大  
中退作曲家  
松本克平(74) 三郷村・早大文  
俳優

丸山鉄雄(70) 長野市・京大経  
音楽評論家  
三沢あけみ(35) 伊那市・小野  
学園高中退歌手

水品春樹(82) 長野市・専大中  
退舞台監督  
宮下京子(29) 長野市・東横短  
大バレリーナ

スポーツ

飯澤重一(78) 辰野町・東北大  
法文日本体育協会専務理事  
小森光生(49) 松本市・早大  
プロ野球ヤクルト二軍監督

中島治康(71) 松本市・早大商  
野球評論家

各種分野

岩井章(58) 松本市・鉄道教習  
所国際労働運動研究協会長  
小林千寿(26) 松本市・囲碁五  
段、前女流選手権者

丸田祐三(62) 長野市・保清商  
中退将棋九段



丸岡秀子氏

に当たる七年目ごとの四月に行  
われる。奥山からモミの大木を  
引張り出して社殿の四周に立  
てる勇壮な行事。

途中、急坂では若い衆がまた  
がった大木を一気に引き落とし  
たり、威勢のいい掛け声ととも  
に川を押し渡るさまは見もの  
で、全国から多くの観光客が集  
まる。社殿造営神事の名残と伝  
えられ、やはり七年目ごとに行  
われる普光寺御開帳と並ぶ信州  
祭りごよみのハイライトだ。

祭りとごよみのハイライトだ。

子(一八八六一一九一七) 松代  
生まれ新劇女優。「復活」の  
カチューシャ役が有名。▽島木

「ことば」

▼こわえ濃い  
▼あつたら惜しい  
▼あやけるあわてる  
▼つばいしいとし  
▼ちよーらかすからかう、  
いじめる、じらす

▼きさんじーみごと、すば  
らしい  
▼おひなる起きる、目ざめ  
る

▼ういっつらい、せつない  
▼びちゃっつちやう捨てる  
▼ずくがある(ない)やる  
▼……ずら……だろう

赤彦(一八七六一一九二六) 上  
諏訪生まれアララギ派歌人。  
歌集「馬鈴薯の花」「太虚集」。  
▽島崎藤村(一八七二一九四  
三) 馬籠村生まれ詩人、作家。  
詩集「若菜集」、小説「破戒」「春」  
「夜明け前」。▽岩波茂雄(一  
八八一一九四六) 中洲生まれ  
岩波書店創設者。▽中山晋平  
(一八八七一九五二) 新野生  
まれ作曲家。処女作「カチュ  
ーシャの歌」ほか「東京行進曲  
曲」「波浮の港」など。▽五島  
慶太(一八八二一九五九) 殿  
戸生まれ東急グループの総  
帥。私鉄王▽藤原銀次郎(二八  
六九一九六〇) 平榮生まれ  
実業家、政治家。王子製紙を再  
建、製紙王といわれた。▽平林  
たい子(一九〇五一九七二) 中洲  
生まれ作家。代表作に「喪章  
を売る」「こういう女」など。

▽宮沢俊義(一八九九一九七  
六) 長野生まれ憲法学者。主  
著に「国民代表の観念」。

「タイズ」の解答 (1) みすずか  
る (2) ヒノキ、サワラ、コウヤ  
マキ、ネズコ、アスナロ (3) 雷  
電網飯田市 (4) 大町山岳博  
物館 (5) 中島治康 (6) 高遠

●イラスト 山崎勝康  
●協力 加藤恵氏 長野県 読  
売新聞長野支局